

12. 世界経済の動向と日本の役割

第12章 世界経済の動向と日本役割

- 1. 世界経済の動向
  - 激動の70年代
  - 80年代の世界経済とレーガノミクス
  - 経済再生を果たしたアメリカ
  - ロシア・中東欧の市場経済化
  - 欧州通貨統合の進展
  - アジア危機と回復
  
- 2. 国際金融市場の動向
  - 国際的資本移動の変容
  - ジャパンマネーの盛衰
  - 累積債務問題
  
- 3. 国際貿易システムの変容
  - GATTとウルグアイ・ラウンド
  - 地域統合と世界の三極化
  - 増加した直接投資
  
- 4. 世界に対する日本の貢献
  - 世界経済の課題
  - 世界経済に対する日本の貢献

---

(1) 激動の70年代

1973年 第一次オイルショック

80年代の世界経済とレーガノミクス

1981 レーガノミクス

( ) ( ) ( ) ( )

結果は、高金利+財政緩和 ドル高 「双子の赤字」 ( ) ( )

ドル暴落の危機 1985年9月 ( )

( 2 ) 経済再生を果たしたアメリカ

1993 クリントン大統領

人的資源の充実、インフラ整備、民生技術の開発

冷戦の緩和 軍事産業の民生技術への転用 ( )

( 3 ) 欧州通貨統合の進展

1993年 ( ) 条約 = 今後の統合プロセスを規定

1999年 単一通貨 ( ) 誕生

( 4 ) ロシア・中東欧の市場経済化

1989年末 ( )

中東欧で市場経済化が進む

( 5 ) アジア危機と回復

90年代半ばまで順調な発展が続く

1997年 ( )

= 韓国、タイ、インドネシアなどでの通貨の暴落

企業の脆弱性、後進性が原因

現在は復活

( 6 ) 国際貿易システムの変容

W T O と F T A

W T O ( = ) 国際貿易の調整機関

F T A ( = ) 締結国間の貿易に対する貿易の自由化

日本の F T A 締結状況

発効 ( )

合意 ( ) ( )

交渉中 韓国、マレーシア、タイ、A S E A N など